

## オープンガバナメントパートナーシップ (Open Government Partnership) 運動 国家行動計画 (National Action Plan, NAP) 事例

### (7) 英国 NAP2 2013-2015

#### ① 初めに (Introduction)

オープンガバナメントの原則、透明性、参加、説明責任は、単なる高尚な原則ではない。この原則は人々の日常生活の基盤となるものである。この原則は、行政が市民の意見に真摯に対応しなければならないことを保障するものである。

情報公開は最早、政府の選択の一つではない。それは変わり行く世界に適應するために不可欠なことである。社会的、経済的、政治的な改革はトップダウンで、閉じられた政府では、国民の期待と要求に答えることは出来ない。

英国政府は、世界に対して以下のような姿勢で適應しなければならない。

- ① 政府は政策の実施を独占できない。
- ② 市民は自分たちの生活に影響を与える決定に発言権を持っている。
- ③ 健康と繁栄は、多様な関係者からの意見を必要とする。政府は、単独で行動は出来ない。

英国政府は他国と協働し、他国の行動を生かさなければならない。英国は2011年9月に、国連総会で8つの国が参加して設立したOGPのメンバー国である。現在はNAP2016-2018を作成中である。

#### ② OGP を達成した成果 (Open Government efforts to date)

英国は、2011年9月に、最初のNAPと自己評価報告を公表した。このNAPは、OGPの独立報告プロセス (independent reporting process) の一部として、最近、情報公開センターの事務局長が検討したものである。

英国政府は、IRM reportを受け取った。このNAPの37の実施事業は、現在完了しているか、進行中である。この報告書の重要な点を以下に示す。

- ① 中央政府のポリシーとして、パブリックデータの原則 Public Data Principles に基づいて主要原則に焦点を当て、オープンデータを共有し、事業の実施を監視する標準を設定。
- ② 個人や企業が公共部門で作成された情報とデータを利用、再利用することを認可する Open Government Licence に基づいたデータの導入。
- ③ Public Sector Transparency Board と 9 つの部門の透明性パネルを強化して企業と個人の責任を重くみる。
- ④ data.gov.uk (<https://www.data.gov.uk/>) の機能を強化し、データセットを入手可能にして正しいデータを収集と公開。
- ⑤ GOV.UK を立ち上げて、一つだけのデジタル政府ドメインとする。そして Assisted Digital strategy と各政府機関のデジタル戦略と同様に 23 の主なオンライン行政サービスも、このドメインに移動。
- ⑥ 全ての政府情報を ICT 使って公開し、職員が直接、市民に参加を働きかけ

られるソーシャルメディア指針にリンクできるようにして、住民参加の改善実施。

この報告書で最も重要な指摘は、最初のNAPはあまりにもオープンデータに焦点を当て過ぎていることである。この指摘から、ガバナメントにはオープンデータの他に実施しなければならないことが多くあると認識した。

最初のNAPでは、行政サービスの改善と公共財の効率的な管理であった。第二のNAPでは、これら2事業に3事業を加えるOGP UK Civil Society Networkを作った。現在、Involveによって運営されている。

このネットワークは、50を越える市民団体のメールリストを持っている。そして、この内30を越える団体が、次のNAP作成に参加している。2013年のOGPでは、共同議長として、またG8主催国として、英国政府は、市民社会の透明性、説明責任の実施にリーダーシップを取った。第二NAPは、2013年6月にパブリックコンサルテーションに出した。

パブリックコンサルテーションとして、11のコンサルテーションが返ってきた。これらは原案に採り上げられたが、これと平行して、NAPのメンバーと政府職員が実施計画を作成した。

この最終案には市民団体からの多くの提案を採用され、政府機関の組織を横断して作業することに貢献した。この第二NAPは、市民団体の参加で強固で、野心的な実施計画となった。

### ③ 行動計画作成プロセス(NAP Development Process)

第二NAPは、2013年6月にパブリックコンサルテーションに出した。パブリックコンサルテーションとして、11のコンサルテーションが返ってきた。これらは原案に採り上げた。これと平行して、Nのメンバーと政府職員が実施計画を作成した。この最終案には市民団体からの多くの提案を採用した。この提案は政府機関の組織を横断して作業するのに貢献した。この第二NAPは市民団体の参加で強固で、野心的な実施計画となった。

2013年Lough Erne Lough Erne Resortで行われたG8サミット(主要国首脳会議)で、参加国すべてがOpen Data Charterに署名した。G8がもつデータの公開、アクセス、再利用の改善を許す5つの原則を設定され、この宣言文によって、世界にオープンデータが市民の毎日の生活の変革を助けるという認識が世界中に広がったことを意味する。

政府のデータを公開することは、経済成長を促進し、繁栄をひろめる莫大な可能性を秘めている。それは説明責任を改善し、ガバナンスを強化し、信頼と構築し、民間部門と政府のイノベーションと重要な公共サービスの提供を促進する。

以下のオープンデータの作成プロセスが構築されている。

① data.gov.uk (<https://www.data.gov.uk/>) 一つのウェブサイトで中央政府や公的機関からの 10,300件を越えるデータセットを保持している。

② WWWを発明したSir Tim Berners-Leeによって、創設されたオープンデータ

## 研究所 Open Data

Institute (<http://theodi.org/>) でデータ利用のイノベーションを促進する。

③ 公開する新しいデータセットの価値を専門家が政府と協働で行う Open Data User Group

(<https://www.gov.uk/government/groups/open-data-user-group>) を設立した。

④ 政府機関を横断してオープンデータ戦略を促進し、導入するために各政府機関に Sector Transparency Boards を創立した。

(<https://www.gov.uk/government/groups/public-sector-transparency-board>)

そして、国民は政府が保持しているデータを利用する技術を身に付けるために Seizing the Data Opportunity を立ち上げた。さらに、OGP を推進すつために、Lough Erne Summit で、Open Data Charter action plan を公開し、National Information Infrastructure (NII) のような運動も進めている。

④ OGP 実施事業計画 (OGP Commitments)

OGP 実施事業計画は、次の 5 つの分野からなっている。

① オープンデータ (Open Data) : 透明性、行政サービスの改善、経済成長のために政府データの公開。

実施事業計画 1, 2, 3, 4, 5 省略

② 政府の健全性 (Government Integrity) : 透明な政府で腐敗と戦い、民主主義を強化。

実施事業計画 6, 7, 8, 9, 10, 11 省略

③ 財政 (Fiscal) : 国民が予算の流れを追跡することを支援。

実施事業計画 12, 13, 14 省略

④ 市民のエンパワーメント (Empowering citizens) : 市民と政府との関係改善。

実施事業計画 15, 16, 17, 18, 19, 20

⑤ 天然資源の透明性 (Natural resource transparency) : 天然資源を確保し、その収益を公共の利益のために使用。

実施事業計画 21 省略

(8) カナダ NAP2 2014-2016

① 初めに (Introduction)

カナダ政府は、世界の OGP 運動のメンバーとして、政府がデータや情報へのアクセスを拡充している。透明性、説明責任を確保し、行政への市民参加を推進している。カナダは強固で、近代的な民主主義の基盤として、公開性、説明責任に関する長年の事業実施実績を持っている。

30 年以上前から情報公開法を成立させている。現在はオープンガバメントと

して、積極的に情報公開を行っている。政府は国民が政府の業務上の透明性を監視できるように勤めている。

カナダは、2012年4月にOGPに参加した。そして、OGPのオープンガバナメント宣言の原則を維持している。カナダ政府のOGP行動計画は、OGPメンバーとして世界の成功事例を共有し、学び、協働して、地球規模で国民の利益になる解決に他のOGPメンバーと取り組んでいる。

OGPのオープンデータワーキンググループ(Open Data Working Group)の共同議長として、オープンデータの共有原則を定義することを他の政府、市民団体と協働して取り組んでいる。

第二NAPには、オープンデータ、オープン情報、オープン対話に国民がより容易にアクセス出来るように改善する12の実施事業計画を作成した。

② OGP を達成した成果 (Open Government efforts to date)

① 次世代オープンデータ: 2013 年に第一 NAP の進行報告と国民のコンサルテーションを求める次世代オープンデータサイト (data.gc.ca) を立ち上げた。

<http://open.canada.ca/en>

② 政府広報サイト (Access to Information, ATI) の改善: 2013 年に政府の情報が 1 つのサイトでアクセスできるように ATI を改善した。

<http://open.canada.ca/en/access-to-information>

③ オープンガバナメント認証 (Open Government Licence, OGL): 2013 年に政府のデータを出所に関係なく利用するための障害をなくする新しい OGL を、自治体を含む全ての政府機関に発令した。

OGL: <http://open.canada.ca/en/open-government-licence-canada>

④ カナダ政府の情報へのクイックアクセスサイト (Canada.ca): 2013 年末に国民が政府の情報にすばやくアクセス出来るサイト Canada.ca を立ち上げた。

<http://www.canada.ca/en/>:

⑤ オープンデータハッカソン (Canadian Open Data Experience (CODE)): 2014 年 2 月に開催し、90 人の開発者が参加し、連邦政府のデータを使って 100 のイノベーションアプリを開発した。

<http://open.canada.ca/en/canadian-open-data-experience-code>

③ 行動計画作成プロセス (NAP Development Process)

第二 NAP 作成は、以下の順序で国民と市民団体のコンサルテーションを実施した。

① 第一段階: オンラインと直接参加で国民と市民団体からコンサルテーション実施計画に関する公聴を 2013 年 4 月に実施した。(Public Consultation Planning)

② 第二段階: NAP の事業計画に関して国民と市民団体からの提案を、国を縦断してワークショップと討論を 2013 年 8 月に実施した。(Generating Ideas)

③ 第三段階: NAP の原案を提案し、国民と市民団体からのコメントを取り入れ

て作成し、そのコメントを 2013 年 9 月求めた。(Proposing Activities)

④ 第四段階: 2014 年 10 月に最終の国民と市民団体の評価とコメントをオンライン(data.ca)で求めた。NAP とコンサルテーション結果の報告はプロセスも含めて詳細な報告書にして公開した。(Full Review of Action Plan)

2013 年 10 月に第一 NAP を公開して、独立機関の評価が開始された。その結果を基に、第二 NAP を作成した。

OGP の提案する独立機関の評価は、第二 NAP の導入、開発に役立った。

④ OGP 実施事業計画(OGP Commitments)

第二NAPの実施事業は、向う2年間で13の事業を実施する。オープンガバナメント指針は、政府機関のオープンガバナメントに新しい政策とオープンデータ、オープン情報、オープン対話の3つの流れの基本的な支援を提供する。

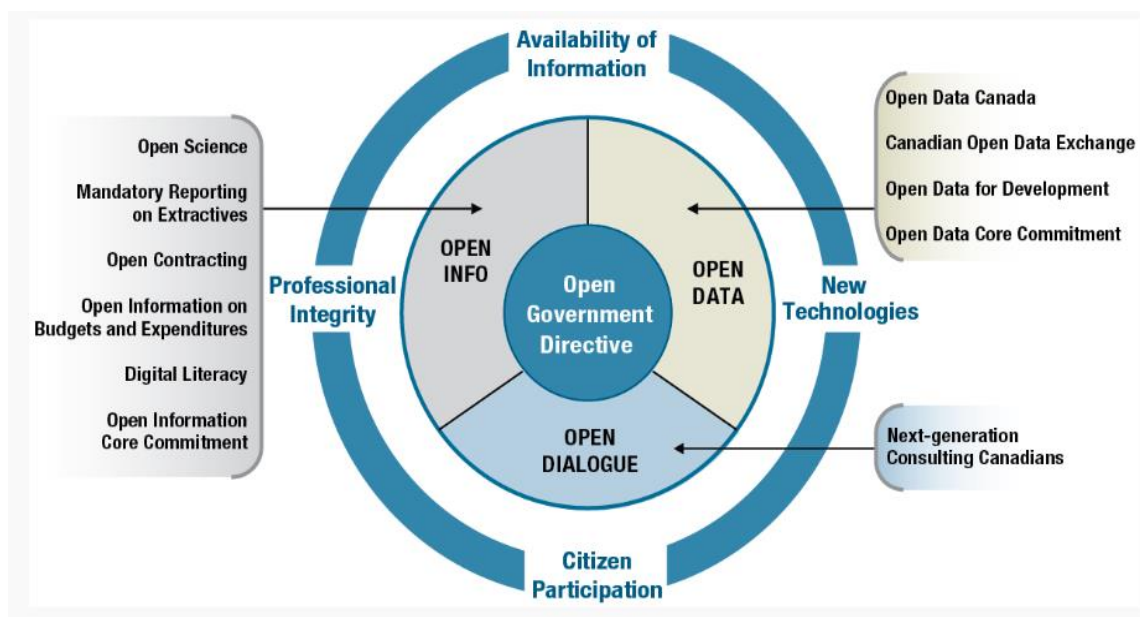


図 1 実施事業

実施事業は 3 つの層からなっている。基本事業が第一層のオープンガバナメント指針、第二層が 3 つの流れからなっている。すなわち、

① オープンデータ: オープンデータカナダ (Open Data Canada)、カナダオープンデータ交換 (Canadian Open Data Exchange)、オープンデータ開発 (Open Data for Development)、オープンデータ基本事業 (Open Data Core Commitment)。

② オープン情報: 科学情報のオープン、エネルギー資源情報のオープン、契約情報のオープン、予算・支出情報のオープン、デジタル情報技術の教育、政府情報公開。

③ オープンデータ対話：国民と市民団体との次世代コンサルタントシステム開発である。

そして第三層は、情報の入手可能性、専門職の真摯性、新技術、市民参加のオープンガバナメントの原則である。

さらに、OGPの基本方針で公共サービスの改善、公共機関の規則遵守、公共資源の効率的な運営、安全なコミュニティ創生、説明責任の強化を進める。

実施事業計画・詳細省略

#### ⑤ 結論

カナダ政府は、オープンガバナメントを実施し、OGPの専任メンバーとして、その役割を引き続き果たす。カナダ政府は、世界中のイノベーション、経済的機会、より民主的な参加を推進すると信じるOGPの原則を支持する。